

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永
日 時	平成24年6月18日(月曜日)		開 議 午後 1 時 5 0 分
			閉 議 午後 3 時 0 3 分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 西村 明田 石野 木曾議長		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	

会 議 の 概 要

1 3 : 5 0

1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

2 議事

(1) 議会だより 1 5 3 (6 月定例会号) の掲載事項について

(ア) 掲載項目及び掲載写真について

トップ写真について

掲載項目について (別紙)

< 福井副委員長 >

議会だよりの掲載項目について、作業グループで協議した結果を事務局から報告願う。

[事務局 別紙により説明]

< 福井副委員長 >

協議結果の報告について、意見はないか。

< 苗村委員 >

特別委員会の活動報告については、15ページにも掲載するのか。

< 事務局 >

14ページを特別委員会の活動報告としてまとめるものであるが、掲載記事のボリュームにより、15ページにも及ぶ可能性がある。

< 福井副委員長 >

公社特別委員会の調査報告はおそらく15ページに掲載することとなる。

< 了 >

< 福井副委員長 >

掲載項目の内容について、順に確認していきたい。

[1 P]

< 福井副委員長 >

ピックアップ見出しは、補正予算を早期に可決したこととしたいがどうか。また、かめまる については、かめまるの動きのあるイラストを使いたい。 < 了 >

[2 P]

< 福井副委員長 >

山本委員にレイアウトの調整を担当願う。他のページと重なる内容もあるので留意願う。

[3 P]

< 福井副委員長 >

井上議員の問責決議の掲載については、グループ内で掲載方法を議論した結果、レイアウト表のように問責決議案の全文、賛成討論を掲載する方向でまとまった。委員会としての結論を得たい。

< 西村委員 >

問責決議案の内容は大変厳しいものである。配慮が必要ではないか。

< 苗村委員 >

隠す必要はない。正しく情報を伝えるため、全文掲載でよいのでは。

< 明田委員 >

その通りであるが、一定配慮すべきとも思う。

< 菱田委員長 >

配慮すべき部分もあるが、新聞等報道もされており、議会がそれを閉ざすと身内に甘いと見られてしまう。問責決議を行ったことは議会として襟を正していこうとすることであり、広報の役割として掲載すべきである。内容については、今後の編集で検討していきたい。

< 西村委員 >

討論の内容も大変厳しいものである。本人が耐えられるか心配である。

< 福井副委員長 >

そのような議論をグループでして、しっかり掲載すべきとの結論に至ったが、以上の意見により、問責決議案の内容を要約するなど工夫を加えてみたい。次回の委員会で確認願う。 < 了 >

[4 ~ 5 P]

< 福井副委員長 >

私がレイアウト構成を担当する。議会報告会の内容を含めてメインページとしたい。事故が起きてからの市、議会の対応等、写真を多用して掲載するようイメージしている。このページに掲載すべき内容について意見はないか。

< 木曾議長 >

全会一致で可決した意見書案を掲載すべき。議会から関係機関に要望したことは大きな取り組みである。

< 福井副委員長 >

意見書の内容も含めて掲載したい。

< 西村委員 >

篠町のことだけでなく、他町の取り組みも掲載されたい。

< 木曾議長 >

大井町の府道なども双方向の車両通行で大変危険な通学路となっている。そういう危険箇所の写真も掲載してみてもどうか。

< 福井副委員長 >

そのような方向で検討していきたい。

[6 ~ 7 P]

< 福井副委員長 >

産業建設常任委員会の掲載内容は篠町の事故対応と重なるので、場合によっては、

4～5ページに掲載することも考えられる。そうする場合、6ページの掲載については、総務文教、環境厚生常任委員会の掲載内容を充実させることとなる。

< 苗村委員 >

常任委員会で掲載内容を協議した。大きく変わるようであれば検討が必要である。

< 福井副委員長 >

従来であれば3常任委員会を1ページにまとめてきたが、産業建設常任委員会の内容については、4～5ページと重なることを危惧する。

< 木曾議長 >

掲載ページの基本的な位置づけはあまり変えない方がよいと内藤印刷と協議してきた経過がある。3常任委員会の掲載は、一つにまとめるほうがよいと考える。産業建設常任委員会の掲載内容が他のページと重なることはやむを得ない。

< 福井副委員長 >

そのように編集することとしたい。

[8～13P]

< 福井副委員長 >

前回と同様の掲載で了と考える。

[14～15P]

< 福井副委員長 >

議運でも報告したが、4特別委員会のうち、前回、平和人権対策及び環境対策特別委員会は掲載したので、できれば公共交通対策、上桂川対策特別委員会を重点的に掲載したいと考えている。

[16P]

< 福井副委員長 >

「市民の声」の掲載については、前回の委員会で2人分を掲載する方向となった。一つは本会議を傍聴して、もう一つをどのように取り扱うかグループで色々考えた結果、議会報告会に参加しての感想を掲載する案でまとまった。今回はもう間に合わないの、次回からそのように掲載したい。その分、今回はスペースが余るがどのように取り扱うか。

< 木曾議長 >

視察の受け入れなどを入れてみてはどうか。また、トップページには日経グローバルのランキング結果も掲載すべきである。

< 福井副委員長 >

そのような方向で検討したい。次回号からは「議会報告会に参加して」を含めて2人分掲載する方向で了解願う。 < 了 >

< 福井副委員長 >

今後の課題としては、別紙のとおり3点でたので、報告する。

一般質問の掲載のありかたについて、現状は個人の主張として掲載する方向であるが、書き方も議員個人により色々である。議会広報紙としてより進化させようとなると、個人質問であっても、質問、答弁内容を議会としてまとめ、整理した内容で掲載すべきとの考え方もある。時間をかけて検討すべき課題としたい。

トップページの写真について、市民参加として募集してはどうか。募集する場合、毎回募集していくのか、1年に1回募集して4点入選させるなど、検討しなければならないが、市民との距離を縮める手法として考えられるものである。

将来的に企業広告を掲載することにより自主財源確保に向けた取り組みである。

1区画4万円(1年)で掲載している議会広報誌もある。企業選定の方法など考

えなければならぬ。

以上、来年度に向けて議論していきたいと考える。承知おき願う。

< 菱田委員長 >

今後の検討課題として、機会あるごとに議題として取り上げていきたい。

(イ) 今後の編集日程について

[菱田委員長説明]

議会だより作業グループ：随時

広報広聴特別委員会

・ 7月 5日(木) 10時～

(文章・レイアウト表・写真の確認)

・ 7月19日(木) 10時～

(ゲラ版の校正) 7月23日(月)校了

< 全員了承 >

～ 14 : 37

(2) 議会報告会について

(ア) 前回(5月8日開催)の総括について

総括

< 菱田委員長 >

前回の委員会で総括をすべきとの意見があった。特に蕨田野会場について、西村委員の意見を議題としたい。

< 西村委員 >

他地域から来た人が、他地域や市全体の話をすることは悪い事ではないが、地元の人が意見を言えなかったのはどうか。参加をその地域の人だけに限定してはどうか。

< 菱田委員長 >

その地域のことを議題とすべきという意見と、その地域の人を中心に来てもらうことも考えるべきという意見である。今回の蕨田野のことを踏まえ、今後の報告会のあり方を整理したい。

< 福井副委員長 >

23自治会を2年で一巡するが、もう少し地区の範囲を広げても良いのでは。狭い区域に分けて2年に1回しか回らないのではなく、対象の地区を広げ、同じ3ヶ所でやるにしても、もう少し人が入れるような区域にしては。議会報告会の範囲の再編を考えるべきではないか。

< 菱田委員長 >

エリアを広げたとしても、そのエリアの中だけの話を議題とするのか、市政全般の意見を聞くのか。また、エリア外の人にも来てもらうのか。

< 福井副委員長 >

全戸配布のだよりやきらり亀岡おしらせに掲載している以上、参加対象を絞ることは制度的にできないのでは。

< 西村委員 >

その地域で1年に1回は実施しないと間隔が開きすぎる。市の中心部で全市民を対象としたものを1回実施し、あとの4回を地域を対象としたものにできないか。

<山本委員>

2年に1回は長い。1年に1回は必ず回れるように、1定例会6会場×年4回に増やしては。参加者を地域に限定するのは難しい。どの地域の人でも参加できるのがベストである。

<石野委員>

回数が少ないとは聞く。議会側の人数的なこともあるので、今年度はこのままで、残り2年で考えては。

<苗村委員>

もともとは、その地域の人だけではなく、誰でも参加できるということであった。篠会場でも他地域の人が発言することはあったが、問題とは思わなかった。今回は、取り上げられたことが議員個人に対してのことであったから問題なのでは。これまでも報告会は議会全体の議題について行って来た。進行上のやり方をきちんと押さえておくべきである。報告会の回数は、他市では年に数回のところも多く、本市のように毎定例会行っている所は珍しい。年に1回各地域を回るなら、より身近になるという気はするが、もう少し議論が必要。まずは進行上の問題では。

<明田委員>

各自治会で開催している以上、その地域が中心という考え方に立っているが、それ以外の人参加を拒否するものではない。報告会なので、あくまでも議会で審議したことや議会だよりに対するやりとりが基本である。要望・意見は聞くべきであるが、司会者は進行上の工夫が必要。2年に1回は確かに間隔が開きすぎである。

<木曾議長>

報告会はだよりを資料としており、だよりの発行後、次の定例会までに、物理的に短い期間で2回まわれるのか考慮も必要。また、地元議員も行くべきという議論も整理しなければならない。また、自治会だけではなく各業界団体を対象に議会報告・意見交換をすることも一つの方法である。できるだけ幅広くこのようなことを行っていくと、稗田野のような問題は少なくなっていくのでは。そのような意見を言うのは限られた人である。慎重にしすぎて他地域の人を排除すると、報告会の意味を成さなくなる。

<西村委員>

報告会は議員全員が揃って出向くべきでは。市域を4つのブロックに分け、各ブロックで1年に1回行えば人も集まるのでは。

<菱田委員長>

今回の件は、会議の進行をしっかりと行うべきだということで整理したい。また回数は、年に1回は行けるよう検討する。回数を増やすのか、エリアを広げるのか、全議員で行くのか、方法を検討して一巡後の報告会に活かしていきたい。

広報広聴特別委員会所管分の意見の取り扱いについて

<菱田委員長>

当日のような対応で、今後も対応して良いと考えるがどうか。

- 了承 -

<菱田委員長>

基本的には名前を言ってもらうが、言いたくない人は言わなくても良いというやり方とする。この意見は「参考」とすることで良いか。

- 了承 -

(イ) 次回の議会報告会(6月定例会報告分)について
8月21日(火) 20時~21時予定
東別院町ふれあいセンター
旭コミュニティセンター
大葉台2丁目集会所(南つつじヶ丘)

<菱田委員長>

全協の場で役割分担を行うので、議長に全協の開催をお願いする。早ければ7月13日の全協、それより先に全協があれば、そこで役割分担を行う。

<木曾議長>

未定だが、8月18日に議員団研修が入る可能性もある。講師と調整中である。

<菱田委員長>

7月、8月のいずれかの機会で行う。

回覧チラシの取り扱いについて
(8月1日 回覧予定)

<菱田委員長>

井上議員作成のチラシのデータを使い、同じような形で整理することで良いか。

- 了承 -

7月5日の委員会で内容を確認いただき、印刷後、自治会へ持参する。

<福井副委員長>

8月の全協では、会場責任者を決めるのが間に合わないのでは。

<事務局>

次回の委員会で会場責任者の決定をお願いする。

<菱田委員長>

会場責任者は広報広聴特別委員から選ぶので、7月の委員会で決定する。

~ 15 : 03